

第2回 出雲市介護保険運営協議会

日 時 平成30年11月1日(木)
14:00～16:00
場 所 市役所 3階 庁議室

1. 健康福祉部長あいさつ

2. 会長あいさつ

3. 議事

(1) 第7期計画に係る成果指標の設定について

第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画に係る成果指標(案) (資料1)

指標設定のポイントと評価基準 (資料2)

(2) 介護予防・日常生活支援総合事業について

介護予防・生活支援サービス事業(通所型サービスC)について (資料3)

4. その他

出雲市介護保険運営協議会(平成29年度～平成30年度)

No.	氏名	所属	備考
1	荒木 尚司	出雲地域介護保険サービス事業者連絡会(施設サービス)	
2	嵐谷 直美	第二号被保険者代表	
3	飯國 吉子	第二号被保険者代表	
4	飯塚 勉	出雲市民生委員児童委員協議会	
5	今岡 久美子	第一号被保険者代表(佐田・多伎・湖陵)	
6	岩崎 陽	出雲市歯科医師会	
7	岩谷 政彦	出雲地域介護保険サービス事業者連絡会(地域密着サービス)	
8	大森 康正	出雲市社会福祉協議会	
9	加藤 哲夫	出雲市介護認定審査会	
10	河原 修	J Aしまね出雲地区本部ふれあい福祉課	
○	11 齋藤 茂子	島根県立大学出雲キャンパス	
◎	12 塩飽 邦憲	島根大学	
	13 須谷 生男	出雲医師会	
	14 高橋 幸男	出雲医師会	
	15 竹内 一子	出雲地域介護保険サービス事業者連絡会(居宅サービス)	
○	16 中山 博識	島根県医師会	
	17 西尾 眞	第一号被保険者代表(平田)	
	18 原 美知子	第一号被保険者代表(大社)	
	19 福場 由紀子	在宅福祉サービス団体代表	
	20 古川 盛雄	第一号被保険者代表(出雲)	
	21 祝部 裕子	出雲高齢者あんしん支援センター	
	22 牧野 由美子	島根県出雲保健所	
	23 松本 弘	第一号被保険者代表(出雲)	
	24 諸井 望	出雲地域介護支援専門員協会	
	25 山崎 文夫	第一号被保険者代表(斐川)	

◎会長 ○副会長

名簿は50音順

第7期 高齢者福祉計画・介護保険事業計画に係る成果指標（案）

第7期計画における項目 大項目 中項目	指標番号	成果指標	指標の種別	目標数値			国評価※	
				項目・単位	H30	H31		H32
第4章 地域包括ケアシステムの実現								
2 地域ケア会議の推進								
1		地域ケア会議が、参加したケアマネジャーの自立支援・重度化防止に資するケアマネジメント及び多職種との連携促進につながっているか。	取組指標					
2		地域ケア会議における検討が、自立支援・重度化防止の取組につながったか。歩行・買い物・調理など19項目において取組開始6か月後に「改善、維持、悪化」の3段階評価を行う。	取組指標					
3 高齢者あんしん支援センターの機能強化								
3		国が示す地域包括支援センター事業評価（114項目）による評価結果はどうであったか。	取組指標					
4		地域包括支援センター運営協議会で評価を行い、改善すべき事項が運営方針に反映され、その後、センターの業務改善が図られているか。	取組指標				○	
第5章 介護予防・生きがいつくりの推進								
1 総合事業の取組								
5		介護予防教室修了後、参加者による自主的な介護予防への取組につながられたか。このほか、町内単位等、身近な場所で地域住民が介護予防に取り組む活動を創設しているか。	数値指標	活動団体数 (団体)	12	9	9	○
6		リハビリテーション専門職等と連携し、「通いの場」に専門職を派遣し、身体機能評価を行うなど介護予防の動機づけとなるような取組を行っているか。	取組指標				○	
7		地域で介護予防に取り組む活動を支援するボランティアを養成し、養成後は、地域でボランティアやリーダーとして活動しているか。（介護予防サポーター養成の活動状況）	取組指標					
2 生活支援サービスの充実								
8		支え合いの必要性の理解を深めるため、普及啓発を推進したか。	数値指標	地域支え合い 研修会開催数 (回)	10	10	10	
9		支え合いの必要性の普及啓発の取組により、住民主体の地域の課題と解決策を検討する場や支え合いの組織づくりを検討する場につながったか。	取組指標					
3 高齢者の社会参加と生きがいつくり								
10		高齢者の就労状況、高齢者クラブや生涯学習講座、ボランティア活動などへの参加状況を把握し、関係機関等との情報共有が図られているか。	取組指標					
第6章 安心して暮らせるまちづくり								
1 在宅医療・介護の連携								
11		在宅医療や介護に関する普及啓発の取組を行っているか。	数値指標	在宅医療座談会 開催数（回）	20	20	20	
12		切れ目のない在宅医療と介護サービスの提供体制を構築していくため、充実に向けた支援を検討しているか。	取組指標					
13		要介護高齢者の在宅療養が増えているか。（在宅療養率：要介護3以上）	数値指標	在宅療養率 (%)	52	52	52	
2 認知症ケアの推進								
14		認知症サポーターを養成し、認知症の正しい理解に向けた普及啓発が行われているか。	数値指標	サポーター 養成数（人）	2,000	2,000	2,000	○
15		認知症サポーター養成講座のステップアップとして、地域住民や企業等が認知症の方やその家族を支援するボランティアを養成しているか。	数値指標	活動団体数 (団体)	2	2	2	○
3 高齢者の権利擁護								
16		高齢者虐待についての状況把握や関係機関との情報共有の機会を設けているか。	取組指標					
17		成年後見制度について、様々な機会を通じて住民等への周知啓発を行ったか。	取組指標					

第7期計画における項目 大項目 中項目	指標番号	成果指標	指標の種別	目標数値			国評価※	
				項目・単位	H30	H31		H32
第7章 介護サービス基盤の整備								
1 サービス種類別事業費の推計								
2 介護サービスの基盤整備目標								
	18	地域密着型サービスの基盤整備を計画的に進めているか。	取組指標				○	
	19	施設整備にあたっては、参入を検討する事業者へ広く周知し公募を行ったか。	取組指標				○	
3 介護人材の確保・定着								
	20	介護人材の確保・定着に向けた取組について、介護現場が望む効果的な取組となっているか。	取組指標				○	
	21	介護人材の確保・定着に向けた取組により、介護人材の就業及び定着が図られたか。	数値指標	介護職員の充足率(%)	16	18	20	○
	22	ホームページ「IZUMO KAIGO LIVE」による情報発信が介護のイメージアップに向けて活用されているか。	数値指標	アクセス件数(ページビュー数)(件)	40000	45000	50000	○
4 介護サービスの質の確保と適正化								
	23	所管する介護サービス事業所について、指定期間中に1回以上の割合で実地指導を実施しているか。	数値指標	実施割合(%)	16.6	16.6	16.6	○
	24	地域密着型サービスの改善及び質の向上を目的とした第三者評価(外部評価)を、国の基準どおり実施しているか。	数値指標	実施割合(%)	100	100	100	
	25	地域密着型サービス事業所において、利用者・家族、地域住民代表、地域包括支援センター、市が参加する運営推進会議が、国の基準どおり開催されているか。	数値指標	実施割合(%)	100	100	100	○
	26	介護相談員の派遣が定期的(2~4か月間隔)に実施されているか。	数値指標	実施割合(%)	100	100	100	
	27	ケアプラン点検、医療情報との突合等、介護給付の適正化、不適切な介護報酬請求防止に取り組んでいるか。	取組指標				○	
5 出雲市独自のサービス								
	28	老老介護支援事業、居宅サービス費区分支給限度基準額拡大事業、認知症グループホーム利用者負担軽減事業等の独自サービスについて、住民周知に取り組んだか。	取組指標					

※ 平成30年度保険者機能強化推進交付金(インセンティブ交付金)に係る評価指標

指標設定のポイントと評価基準

大項目	第4章 地域包括ケアシステムの実現		
中項目	2 地域ケア会議の推進		
指標設定のポイント	関係者が協働して個別ケースの課題解決を図る地域ケア会議の推進は、地域包括ケアシステムのまちづくりを進めていくうえで重要な取組のひとつ。 平成29年度から新たに実施している自立支援に向けた地域ケア会議が効果的に実施されているか評価する。		
指標番号	1	成果指標	地域ケア会議が、参加したケアマネジャーの自立支援・重度化防止に資するケアマネジメント及び多職種との連携促進につながっているか。 <参加者による評価>
評価段階	達成状況		
5	大いにつながった。		
3	つながった。		
1	つながらなかった。		
指標番号	2	成果指標	地域ケア会議における検討が、自立支援・重度化防止の取組につながったか。 歩行・買い物・調理など19項目において取組開始6か月後に「改善、維持、悪化」の3段階評価を行う。 参考：H29.10～H30.2（10事例中7事例評価） 改善 26項目（19.5%） 維持 101項目（76.0%） 悪化 6項目（4.5%）
評価段階	達成状況		
5	概ね対象者が理解し、自立支援・重度化防止につながった。		
3	概ね対象者が理解したが、自立支援・重度化防止につながらなかった。		
1	対象者の理解が得られず、自立支援・重度化防止につながらなかった。		

大項目	第4章 地域包括ケアシステムの実現		
中項目	3 高齢者あんしん支援センターの機能強化		
指標設定のポイント	地域包括支援センターの機能強化が図れているか評価する。		
指標番号	3	成果指標	国が示す地域包括支援センター事業評価（114項目）による評価結果はどうであったか。
評価段階	達成状況		
5	80%以上実施されている。		
4	60%以上～80%未満実施されている。		
3	40%以上～60%未満実施されている。		
2	20%以上～40%未満実施されている。		
1	0%以上～20%未満実施されている。		
指標番号	4	成果指標	地域包括支援センター運営協議会で評価を行い、改善すべき事項が運営方針に反映され、その後、センターの業務改善が図られているか。
評価段階	達成状況		
5	運営方針に反映され、業務が改善されている。		
4	運営方針に反映され、概ね業務が改善されている。		
3	運営方針に反映され、業務改善に向け検討している。		
2	運営方針に反映されたが、業務が改善されていない。		
1	運営方針に反映されず、業務も改善されていない。		

大項目	第5章 介護予防・生きがいづくりの推進		
中項目	1 総合事業の取組		
指標設定のポイント	住民が中心となって介護予防に取り組む活動の推進に向けた取組が実施されているか評価する。		
指標番号	5	成果指標	<p>介護予防教室修了後、参加者による自主的な介護予防への取組につながられたか。 このほか、町内単位等、身近な場所で地域住民が介護予防に取り組む活動を創設しているか。</p> <p>実績：自主的な活動団体 <新規> 平成29年度 12団体 目標：平成30年度 12団体 平成31年度、平成32年度 9団体</p>
評価段階	達成状況		
5	目標を達成したほか、既存団体が順調に運営されている。		
4	概ね目標を達成したほか、市が団体の運営を支援している。		
3	概ね目標を達成した。		
2	目標の半数程度は達成した。		
1	目標を大きく下回った。		
指標番号	6	成果指標	<p>リハビリテーション専門職等と連携し、「通いの場」に専門職を派遣し、身体機能評価を行うなど介護予防の動機づけとなるような取組を行っているか。</p>
評価段階	達成状況		
5	専門職等と連携した取組が行われ、介護予防の効果が良好である。		
4	専門職等と連携した取組が行われ、介護予防の効果が概ね良好である。		
3	専門職等と連携した取組が行われ、介護予防の効果検証が行われている。		
2	専門職等と連携した取組が行われている。		
1	専門職等と連携した取組が行われていない。		

指標番号	7	成果指標	地域で介護予防に取り組む活動を支援するボランティアを養成し、養成後は、地域でボランティアやリーダーとして活動しているか。（介護予防サポーター養成の活動状況）
評価段階	達成状況		
5	修了者のほぼ全員が活動しているほか、新たな通いの場等の創設につながっている。		
4	修了者のほぼ全員が活動している。		
3	修了者の大半が活動している。		
2	修了者の半数程度が活動している。		
1	修了者の多くが活動していない。		

大項目	第5章 介護予防・生きがいづくりの推進		
中項目	2 生活支援サービスの充実		
指標設定のポイント	高齢者の一人暮らしや高齢者夫婦のみの世帯が増加傾向にある中、生活支援の体制づくりなど住民がお互い支え合うことのできる地域づくりを推進したか評価する。		
指標番号	8	成果指標	支え合いの必要性の理解を深めるため、普及啓発を推進したか。 実績：地域支え合い研修会の開催回数 平成28年度 8回 平成29年度 11回 目標：平成30～32年度 各10回
評価段階	達成状況		
5	目標を大きく上回り、支え合いの必要性の理解につながった。		
4	目標を達成し、支え合いの必要性の理解につながった。		
3	目標を概ね達成した。		
2	目標の半数は達成した。		
1	目標を大きく下回った。		
指標番号	9	成果指標	支え合いの必要性の普及啓発の取組により、住民主体の地域の課題と解決策を検討する場や支え合いの組織づくりを検討する場につながったか。
評価段階	達成状況		
5	70%以上の地区で、検討する場や支え合いの組織づくりにつながった。		
4	50%以上～70%未満の地区で、検討する場や支え合いの組織づくりにつながった。		
3	30%以上～50%未満の地区で、検討する場や支え合いの組織づくりにつながった。		
2	10%以上～30%未満の地区で、検討する場や支え合いの組織づくりにつながった。		
1	検討する場や支え合いの組織づくりにつながらなかった。		

大項目	第5章 介護予防・生きがいづくりの推進		
中項目	3 高齢者の社会参加と生きがいづくり		
指標設定のポイント	高齢化が一層進む中、高齢者の社会参加による労働力確保や生きがいづくりが重要であり、行政の立場からの関わり方を検証する。		
指標番号	10	成果指標	高齢者の就労状況、高齢者クラブや生涯学習講座、ボランティア活動などへの参加状況を把握し、関係機関等との情報共有が図られているか。 実績：平29年度 3回
評価段階	達成状況		
5	状況を把握し、年6回以上の情報共有の機会を設けた。		
3	状況を把握し、年3～5回の情報共有の機会を設けた。		
1	状況を把握したが、年2回以下の情報共有の機会しか設けなかった。		

大項目	第6章 安心して暮らせるまちづくり		
中項目	1 在宅医療・介護の連携		
指標設定のポイント	急速に高齢化が進展する中、医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、医療や介護が包括的に提供される体制の整備に向けた取組を行っているか評価する。		
指標番号	11	成果指標	在宅医療や介護に関する普及啓発の取組を行っているか。 実績：在宅医療座談会の開催回数 平成27年度 5回 平成28年度 21回 平成29年度 12回 目標：平成30～32年度 各20回
評価段階	達成状況		
5	目標を大きく上回り、在宅医療や介護についての住民の理解につながった。		
4	目標を概ね達成し、在宅医療や介護についての住民の理解につながった。		
3	目標を概ね達成した。		
2	目標の半数は達成した。		
1	目標を大きく下回った。		
指標番号	12	成果指標	切れ目のない在宅医療と介護サービスの提供体制を構築していくため、充実に向けた支援を検討しているか。 参考：平成29年度 平田地域検討開始
評価段階	達成状況		
5	地域で課題の解決に向け、提供体制の整備が進んだ。		
3	地域で課題が検討され、解決策を講じている地域がある。		
1	地域で課題の検討がなされなかった。		
指標番号	13	成果指標	要介護高齢者の在宅療養が増えているか。 実績：在宅療養率（要介護3以上） 平成29年度 51.1% 目標：平成30～32年度 各52.0%
評価段階	達成状況		
5	目標を大きく上回った。		
3	目標を概ね達成した。		
1	目標を大きく下回った。		

大項目	第6章 安心して暮らせるまちづくり		
中項目	2 認知症ケアの推進		
指標設定のポイント	認知症の正しい理解に向けた啓発活動や地域で認知症の人やその家族を支える取組が行われているか評価する。		
指標番号	14	成果指標	認知症サポーターを養成し、認知症の正しい理解に向けた普及啓発が行われているか。 実績：認知症サポーター養成数 平成29年度 2,062人 目標：平成30～32年度 各2,000人
評価段階	達成状況		
5	目標を大きく上回った。		
4	目標を上回った。		
3	目標を概ね達成した。		
2	目標の半数は達成した。		
1	目標を大きく下回った。		
指標番号	15	成果指標	認知症サポーター養成講座のステップアップとして、地域住民や企業等が認知症の方やその家族を支援するボランティアを養成しているか。 実績：オレンジサポーター養成数 平成29年度 1団体 目標：平成30～32年度 各2団体
評価段階	達成状況		
5	目標を大きく上回ったほか、認知症の方等の支援が取り組まれている。		
3	目標を達成した。		
1	目標を下回った。		

大項目	第6章 安心して暮らせるまちづくり		
中項目	3 高齢者の権利擁護		
指標設定のポイント	近年、高齢者虐待のケースや認知症高齢者は増加傾向にあり、親族からの支援を受けられず高齢者の人権が侵害されているケースが見られるため、高齢者虐待の実態把握や関係機関との情報共有、成年後見制度等について周知啓発の実施状況を検証する。		
指標番号	16	成果指標	高齢者虐待についての状況把握や関係機関との情報共有の機会を設けているか。 実績：平成29年度 3回
評価段階	達成状況		
5	年6回以上の情報共有の機会を設けた。		
3	年3～5回の情報共有の機会を設けた。		
1	年2回以下の情報共有の機会しか設けなかった。		
指標番号	17	成果指標	成年後見制度について、様々な機会を通じて住民等への周知啓発を行ったか。 実績：平成29年度 2回
評価段階	達成状況		
5	年6回以上の啓発活動を行った。		
3	年3～5回の啓発活動を行った。		
1	年2回以下の啓発活動しか行っていない。		

大項目	第7章 介護サービス基盤の整備		
中項目	2 介護サービスの基盤整備目標		
指標設定のポイント	第7期計画中に介護サービスの基盤整備を計画的に進め、必要数を整備（事業者選定）することができているかを検証する。		
指標番号	18	成果指標	地域密着型サービスの基盤整備を計画的に進めているか。（認知症対応型共同生活介護108床、定期巡回・随時対応型訪問介護看護1か所）
評価段階	達成状況		
5	計画どおりの必要数を年次的に各圏域にバランスよく整備（事業者選定）することができた。		
3	計画どおりの必要数を整備（事業者選定）することができた。		
1	計画どおりの必要数を整備（事業者選定）することができなかった。		
指標番号	19	成果指標	施設整備にあたっては、参入を検討する事業者へ広く周知し公募を行ったか。
評価段階	達成状況		
5	広報誌やホームページ等により広く周知したほか、対象事業者を把握し、確実な周知を行い、多くの応募があった。		
3	広報誌やホームページ等により広く周知を行った。		
1	既存事業者のみの周知を行った。		

大項目	第7章 介護サービス基盤の整備		
中項目	3 介護人材の確保・定着		
指標設定のポイント	介護人材の確保・定着に向けた取組が、介護のイメージアップや介護人材の確保・定着につながるものとなっているかを検証する。		
指標番号	20	成果指標	介護人材の確保・定着に向けた取組について、介護現場が望む効果的な取組となっているか。
評価段階	達成状況		
5	「介護人材の確保・定着に係るプロジェクト会議」の意見を反映し、かつ関係機関や介護保険サービス事業者等の多くの意見を反映した取組みができた。		
3	「介護人材の確保・定着に係るプロジェクト会議」の意見を反映した取組みができた。		
1	「介護人材の確保・定着に係るプロジェクト会議」を開催したが、介護現場が望む取組にならなかった。		
指標番号	21	成果指標	介護人材の確保・定着に向けた取組により、介護人材の就業及び定着が図られたか。 介護職員充足率の増 (介護職員充足率=充足数/新規求人数) 実績：平成29年度 14.7% 目標：平成30年度 16%程度 平成31年度 18%程度 平成32年度 20%程度
評価段階	達成状況		
5	目標数値を相当程度上回った(目標数値の1割増)		
4	目標数値を上回った		
3	目標数値を上回ることはなかったものの相当程度達成した(目標数値の8割程度)		
2	目標数値を上回ることはなかったものの昨年度よりも改善した		
1	効果はなかった(昨年度よりも悪化した)		

指標番号	22	成果指標	ホームページ「IZUMO KAIGO LIVE」による情報発信が介護のイメージアップに向けて活用されているか。 アクセス件数（ページビュー数）の増 目標： 平成30年度 40,000件 平成31年度 45,000件 平成32年度 50,000件
評価段階	達成状況		
5	目標数値を相当程度上回った（目標数値の2割増）		
4	目標数値を上回った		
3	目標数値を上回ることはなかったものの相当程度達成した（目標数値の8割程度）		
2	目標数値を上回ることはなかったものの事業開始前よりも改善した		
1	効果はなかった（本事業開始前よりも悪化した）		

大項目	第7章 介護サービス基盤の整備		
中項目	4 介護サービスの質の確保と適正化		
指標設定のポイント	介護サービス事業所への指導や第三者評価等が所定の頻度で実施されているかを評価することにより、介護サービスの質の確保と適正化が図られているか検証する。		
指標番号	23	成果指標	所管する介護サービス事業所について、指定期間中に1回(16.6%)以上の割合で実地指導を実施しているか。
評価段階	達成状況		
5	16.6%を超える割合で実施している。		
4	16.6%の割合で実施している。		
3	13.3%以上16.6%未満の割合(目標値の80~100%)で実施している。		
2	8.3%以上13.3%未満の割合(目標値の50~80%)で実施している。		
1	8.3%未満の割合(目標値の50%未満)で実施している。		
指標番号	24	成果指標	地域密着型サービスの改善及び質の向上を目的とした第三者評価(外部評価)を、国の基準どおり実施しているか。
評価段階	達成状況		
5	100%の割合で実施している。		
3	80%以上100%未満の割合で実施している。		
1	80%未満の割合で実施している。		
指標番号	25	成果指標	地域密着型サービス事業所において、利用者・家族、地域住民代表、地域包括支援センター、市が参加する運営推進会議が、国の基準どおり開催されているか。
評価段階	達成状況		
5	全事業者が100%の割合で開催している。		
4	ほとんどの対象事業者が100%の割合で開催している。		
3	ほとんどの対象事業者が80%以上100%未満の割合で開催している。		
2	ほとんどの対象事業者が50%以上80%未満の割合で開催している。		
1	ほとんどの対象事業者が50%未満の割合で開催している。		

指標番号	26	成果指標	介護相談員の派遣が定期的（2～4か月間隔）に実施されているか。
評価段階	達成状況		
5	全ての施設等において100%の割合で実施している。		
4	派遣施設等において100%の割合で実施している。		
3	派遣施設等において80%以上100%未満の割合で実施している。		
2	派遣施設等において50%以上80%未満の割合で実施している。		
1	派遣施設等において50%未満の割合で実施している。		
指標番号	27	成果指標	ケアプラン点検、医療情報との突合等、介護給付の適正化、不適切な介護報酬請求防止に取り組んでいるか。
評価段階	達成状況		
5	新たな取組等、第6期以上の取組を実施した。		
3	第6期と同等の取組を実施した。		
1	第6期並みの取組が実施できなかった。		

大項目	第7章 介護サービス基盤の整備		
中項目	5 出雲市独自のサービス		
指標設定のポイント	独自サービス内容が住民に周知されたか、その取組方法により評価する。		
指標番号	28	成果指標	老老介護支援事業、居宅サービス費区分支給限度基準額拡大事業、認知症グループホーム利用者負担軽減事業等の独自サービスについて、住民周知に取り組んだか。
評価段階	達成状況		
5	広報等により広く市民に周知したほか、制度対象者を把握し、確実な周知を行った。		
3	制度対象者に対してのみ周知を行った。		
1	広報等による市民周知のみ行った。		

介護予防・生活支援サービス事業（通所型サービスC）について

協議要旨

総合事業開始以前から実施していた通所型サービスC（筋力向上トレーニング教室及び水中運動教室）の事業継続の可否について協議を行う。

1 通所型サービスCの概要

(1) 目的

専門職が生活行為の改善に効果的な介護予防プログラムを短期集中的に実施することで機能向上を図り、教室修了後は、地域のサロン等、介護予防や健康づくりに取り組む場に繋ぐことを目指す。

(2) 期間 週1回～週2回 3ヶ月～6ヶ月

(3) 対象者

- ① 事業対象者
- ② 要支援認定者

(4) 教室内容

- ① いきいき体操教室（週1回 3ヶ月～6ヶ月）
- ② 筋力向上トレーニング教室（週2回 3ヶ月）
- ③ 水中運動教室（週1回 3ヶ月）

2 現状・課題

- ・参加者は減少傾向にある。（総合事業移行後は、高齢者あんしん支援センターの参加勧奨は廃止。）
- ・教室修了後、地域のサロン等、介護予防や健康づくりに取り組む場に繋がらない。
- ・同じ人が何度も教室に参加。（参加者の大半がリピーター）

参加状況

教室	地域	定員	開催回数	開催場所	委託事業者	1クール目参加者人数		
						1ヶ月目	2ヶ月目	3ヶ月目
筋トレ教室 週2回 3ヶ月	出雲	12	2クール	はまぼうふう	(株)さんびる	3	3	3
	平田	12		ひらた健康福祉C		2	2	—
	多伎	8		多伎の郷	社会福祉法人多伎の郷	8	8	8
	斐川	8		まめなが一番館	JALまね斐川地区本部	5	5	5
教室	地域	定員	開催時期	開催場所	委託事業者	参加決定者		
水中運動教室 週1回 3ヶ月	出雲	20	9月	ゆうプラザ	JALまね出雲地区本部	10		
	平田	13	9月	平田スイミングスクール	(有)平田スイミング	6		

リピーターの状況

(単位：%)

年 度	参加者に占めるリピーター率	
	全体	筋トレ・水中
平成 27 年度	43.4	59.2
平成 28 年度	57.4	64.9
平成 29 年度	58.3	62.2

3 今後の事業実施の考え方

- ・平成 31 年度から筋力向上トレーニング教室及び水中運動教室を廃止する。
- ・通所型サービスAや通所介護従前相当サービスで対応する。